

朝礼校長講話（11月20日）

先日、「立冬」の話をしたばかりですが、暦の上だけではなく実際にずいぶん寒くなり冬がやってきたという感じになってきました。最低気温も一桁になり、最高気温も今は10℃ほどありますが、まもなく一桁になるようです。

さて、そんな今、町の中を見回すと、夏にあれだけ緑の葉を茂らせていた木々の葉が、赤や黄色に色づいたり葉が落ちたりしています。足元を「カサカサカサッ」と葉が舞う季節となりました。理科の授業で聞いたかもしれませんが、なぜ、木々は秋から冬になると葉を落とすのでしょうか。木は根から水分や栄養を吸い、それを木の幹や枝、葉や花などに送っています。一方、葉は太陽の光を受け「光合成」といって栄養分をつくり、それを同じように木全体に送っています。しかし、秋から冬になるにつれて太陽が傾き、葉に十分な日光が当たらなくなると、その効率が悪くなります。効率が悪くなった葉をいつまでも枝につけておくと、木そのものの栄養がそっちにとられ十分に成長できなくなってしまいます。そこで、木は、葉を落とし必要なところにだけ栄養をいき渡らせるようにするのです。

このように、自然界では冬に備える準備が着々と進んでいます。では、皆さんはどうでしょうか。部活動の練習や試合前に十分な準備運動をしますね。入念なウォーミングアップをしてからスタートラインに立ちますね。やはり、同じように準備をしています。

では、勉強の面ではどうでしょうか。今日、期末テストの範囲が発表されます。発表される前から、すでにテストに向けて勉強を始めている人もいますが、多くは今日からでしょうか。まだ今日から計画を立てて始める人はよいのですが、計画どおりに進められない人、十分な勉強もしないままテスト当日を迎える人はいませんか。周りの木々はやっています。部活動でもやっています。だったら、勉強もやりましょう！